ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可　平成2年1月18日
口　座　01000-4-62360

平成17年 No.172 9月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

無所属前職、田中氏善戦及ばず

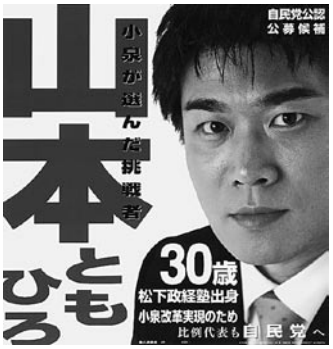
自民党、京都で民主を上回る

京都でも小泉旋風が吹く

郵政民営化関連法案が衆議院でわずか5票差で可決され、その後、参議院で審議が行われてる最中、もし参議院で否決されれば、衆議院が解散されるという噂が広まった。自民党が法案採決をめぐって騒動をくり返している時に、解散となれば、自民党は大きく議席を減らし、政権交代もあり得ると心配する声が強かった。8月8日、衆議院が解散され、小泉総裁は衆議院本会議で反対票を投じた全員に党公認を与えず、33選挙区すべてに党本部の落下傘候補を送り込んだ。党本部の公認候補者は地元との縁がないために、前議員はたとえ無所属となっても強いと思われていた。しかし、郵政民営化賛成か反対かという大変解りやすい選挙が国民に受け、落下傘候補者も善戦、自民党は予想もしない好結果を収めた。京都府の1区から6区の候補者は、小泉旋風に乗り、3選挙区で勝利を獲得、残りの3選挙区でも比例代表で復活当選を果し、全ての選挙区で代議士を誕生させることができた。近畿で最も注目された京都4区では、無所属前職の田中英夫氏、自民党新人の中川泰宏氏、民主党新人の北神圭朗氏の激しい戦いとなって、結果が判明したのは深夜の12時30分すぎであった。田中英夫氏は4区の府会議員・京都市会議員の強力な支援を受けたが、4区でも自民党の風が吹き、自民党新人の中川泰宏氏にわずか156票の差で涙の敗北を喫した。

一区

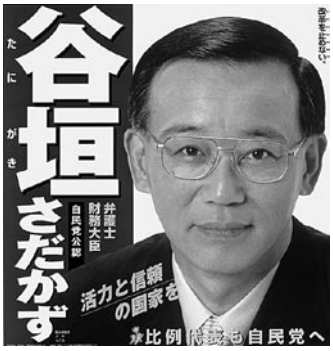
二区



三区

四区

五区



六区

あえて、私は田中候補を支援した

出陣式で挨拶する二ノ湯議員

私は先の国会で、郵政民営化関連法案に関して、反対の票を投じた。言わば造反組の一人であった。党幹部からは望ましくない議員であることは間違いなかった。党本部からは武部幹事長名で、衆院選では党公認候補を応援し、決して無所属候補の支援に走らないようにと文書が送られてきた。私は、今回の公認選考作業はあまりにも党本部の独断専行が過ぎるのではないかと危惧の念を持っていた。

４区の田中英夫候補は、一年９ケ月の衆議院議員生活で、小泉内閣の提案する法案に全て賛成し、小泉内閣の提案した法案に反対したのは郵政民営化関連法案だけである。与党議員の責任を立派に果してきた。加えて京都４区の京都府会議員、京都市会議員の10名をはじめ亀岡市・船井郡・北桑田郡の市会議員、町会議員の大多数、そして亀岡市の市長はじめ、全ての町長が田中さんこそ、自民党にとって最もふさわしい候補者であると支援を表明した。私も４区のかつての政治的同志が田中さんのために頑張っているのを横目に眺めて、傍観することは卑怯な態度だと考え、あえて選挙後の処分を覚悟の上で、田中陣営に馳せ参じた。事務所開き、出陣式、そして個人演説会にも参加したが、十分な貢献ができず、田中さんに苦杯を飲ませる結果になってしまった。私にとって負け選挙は、昭和54年の前尾繁三郎先生以来である。あの時も僅か174票の僅差であった。私はまだ駆け出しの秘書であったが、涙が出て仕方がなかったことを記憶している。それにしても、小泉さんは地方に出来ることは地方で、地方の意向を尊重し、政治も行政も推進していくことを自分の政治信条とされているが、今回の公認劇に関しては、全く地元の意向を無視した形となってしまった。多くの自民党地方組織に大きな傷跡を残した後味の悪い選挙となってしまった。

自民党公認各候補者「改革を止めるな」の一点ばり

今回の衆議院選挙は、郵政民営化賛成か反対かの戦いとなった。国政の課題は郵政民営化だけではないといくら無所属候補や民主党が声高に主張しても、有権者には十分に耳を傾けてもらえなかった。しかも、自民党の公認候補は改革賛成と訴えた方が説得力があると思ったのか、改革を止めるな、郵政民営化賛成の一点ばり。参院の造反組の一人である二ノ湯議員は、今回自民党京都府連選挙対策副本部長の肩書であったが、１区から６区までの公認候補者にとっては、改革反対派と見られていたために、邪魔な存在であり、選挙に関連する会合には一切お呼びが掛からなかった。二ノ湯事務所からは、公認候補の各事務所へ秘書を派遣しているが、本人が公の場所に顔を見せることは、選挙にとってマイナスになると各陣営が考えたのかも知れない。事前に、祈必勝の為書を持って回ったが、その為書すらどこに貼ってあるのやら、探すのに苦労するほど目立たない場所にあった。唯一の例外は、９月８日に二条城北小学校での伊吹文明個人演説会のみであった。この会場は二ノ湯議員の親しい国枝克一郎市会議員の責任会場であるため、国枝氏の配慮で個人演説会への出番となった。いずれにしても、各公認候補者は、小泉首相の改革ブームに乗って当選できた。二ノ湯議員に対して敬遠する態度であっても、公認候補が全て当選できたことは自民党にとって大変目出度いことである。

今後の参院のあり方

衆議院選挙も後半にさしかかった頃から、もし、衆議院で与党が過半数をとっても、参議院で反対票を投じた議員の態度が変わらなければ、再び否決となりかねないという論議が沸き上がったきた。そのため参院自民党幹部は、反対に回った議員の説得工作に入ったようだ。私にはそんな働きかけはなかったが、新聞・テレビの各社からは色々と尋ねられた。私はその都度、もし今回の衆議院選挙で与党が過半数を制することになったら私は民意の判断に従うと答えていた。たしかに、衆議院選挙は郵政だけが唯一の焦点ではない。しかし、小泉首相は郵政民営化関連法案が参院で否決され、衆議院を解散した。しかも、選挙では郵政民営化賛成か反対かで選挙を争いたいと表明した。言わば、郵政民営化の是非を問う国民投票的な色合いの強い今回の選挙であった。選挙投票日の数日前から、鴻池氏をはじめとする反対派の議員らが、参院の青木会長に会い早々に選挙で与党が勝てば、民意に従うと表明した。与党が勝っても、それでも頑固に反対するとは、何のために総選挙を実施したのかと国民からヒンシュクを買うことを恐れたのであろう。ただ、民営化問題はさておいて、私は参院の心ある議員が相集い、勉強会を起ち上げることに賛成である。それは派閥という生ぐさい存在でなく、良識の府と言われる参院で政策について色々と勉強する政策グループはぜひとも必要であると思っている。参院にも衆院の系列化された派閥がある。参院橋本派・参院森派などと呼ばれ、上下関係、主従関係があるようで、私は参院の独立性・自立性から考えて、衆院の系列化の派閥を参院に持ち込むべきでないと考える。間もなく国会が開かれる。心ある人々と参院のあり方について話し合いたいと考えている。

秘書たちの見た選挙戦

今回の衆院選で、二ノ湯智事務所の秘書は、2区・3区・4区・6区の候補者事務所へ出向し、激しい戦いの中で、各々が与えられた持場で、一生懸命頑張った。4区を除いて、3人の候補者は選挙区では敗れたものの、比例代表で復活を果した。秘書たちが感じた選挙戦報告である。

2区 既に、次の新たな戦いが始まる

（横山浩一）

衆議院が解散された8月8日、4月に公募で選ばれたばかりの山本朋広氏は、街頭演説やポスター貼りを始めた矢先で、知名度・実績とも、松下政経塾の先輩でもある民主前職の足元にも及ばない状況であった。しかし、12日間の選挙戦も含め、解散後1ヶ月間、山本氏は街頭に立ち続け、「郵政民営化はあらゆる改革の突破口」「公募で30才の若者が選ばれたことこそ、新しい自民党の姿」と訴えた。自ら看板やのぼりを立て、ハンドマイクで訴え続けるその挑戦者の姿に、新しい自民党への期待感が徐々に高まっていった。急な選挙で、後援会組織も事務所スタッフも間に合わない厳しい状況を、山本氏は若い行動力で知名度不足を補い、小選挙区では約4500票差にまで肉薄し、比例復活当選を果たした。そして、翌12日朝も山本氏は毎週月曜日に演説してきた場所で、いつも通り一人でマイクを握り、通勤客に訴えた。

ひとつの戦いが終われば、次の新たな戦いが始まる。まさに衆議院は常在戦場である。

3区 若いスタッフの体力と気力

（二之湯真士）

京都3区は、自民党新人候補の清水鴻一郎氏が、前回の民主党との2万票差をどこまで追い上げるかという選挙だった。清水候補は伏見選出の府会議員を4期務め、父子2代に亘る伏見しみず病院の医師でもあり、伏見での知名度は高かったが、乙訓二市一町での知名度は低く、序盤は苦しい戦いだった。

だが、自民党の議席奪還への期待が大きく、地元の議員に結束力があり、各種団体・企業からも前回を上回る推薦を得た。さらに郵政改革支持の世論も加わり、「清水勝てる」のうねりが巻き起こり、中盤の調査では「もう一歩」まで追い上げた。その追い風に乗り、終盤の各種決起大会も盛り上がり、街頭でも大きな手応えを感じながら、選挙戦を終えることが出来た。

結果は、小選挙区で惜敗、比例で復活当選だった。

また、今回の選対本部は、選挙の経験に乏しい二十代の若手が総務・個人演説・街宣・電話の責任を任されたが、市会議員の繁隆夫選対本部長ら各議員のもと、若さ故の体力と気力でよく乗り切った。

4区 選挙運動にやりすぎはない

（森田　守）

開票速報が届く度に大きな歓声と拍手が巻き起こる。亀岡市、船井・北桑田郡で田中候補が2位に約2万6千票の差をつけて、西京・右京区の開票を待つ。西京区の開票速報で雰囲気が一変した。2万6千票あった差が1万3千票に縮み、残るは右京区のみとなった。しかし、その差を守りきることが出来ず、最終的に156票差で逆転された。

当初は無所属ということでスタッフにも戸惑いがあった。訪問先で、推薦を頂いているのに公認候補のポスターがあったりもした。しかし、大勢の応援弁士の入洛や、日焼けし、声が枯れていく候補者の姿を見て、全員が一つになっていった。最終日には、阪急桂駅で24時まで最後のお願いを行い、全員が勝利を確信していた。しかし、結果は落選、しかも156票差という悔やんでも悔やみきれない結果となった。候補者夫人が二ノ湯事務所にお願いに来られた際におっしゃっていた「ここにおられる方が10人にお願いしていただければ千票になる」という言葉が思い出される。選挙活動にやりすぎはないという想いである。

6区 次回、候補者の真価が問われる

（上倉崇敬）

「風は恐ろしい」ということを今までで一番実感した。候補者が公募で選ばれてから僅か4ヶ月、事務所とスタッフがようやく決まり、注文したポスターが出来上がろうかというときの衆議院解散、結局ポスターを貼ることさえなく選挙戦へ突入した。

更に選挙戦術にしても「政治経験なし」「選挙経験なし」の公募候補者と、地元府市町村議員・スタッフとの思惑には大きなずれがあり、幾度となく衝突を繰り返した。

しかし、蓋を開けてみれば前回の自民党候補者の得票数を2万票以上も上積みしての当選（比例・復活）である。もちろん、終電までの駅立ち等、候補者本人の努力もあるが、やはり圧倒的な「小泉総理」への追い風がこの結果を呼び込んだのだ。

任期通りに行けば次の選挙時に「小泉ブランド」はもうない。次の選挙こそが、候補者の真価を問う本当の「選挙」だと思う。

第150回 みんなで歩こう湯歩会(参加者75名)

濠川疏水沿い(伏見区南浜)

歩くことは健康の基本

第151回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**9月25日**(日) 小雨決行
・出発時刻：午前8時30分(時間厳守)
・集合場所：阪急桂駅西出口階段下
・コース：桂駅→千代原口→桂山田旧道→浄住寺→竹の寺→苔寺→鈴虫寺→月読神社→松尾大社→松尾旧道→嵐山渡月橋解散

● 秋風の訪れとともにいよいよ、さわやかな「歩こう会」の本格的なシーズンです。気分も最高です。久し振りに阪急沿線の桂・山田の旧家が並ぶ旧道より名所旧跡の有名社寺を巡り、すばらしい風情がいっぱい。コースもフラットです。気軽に是非ご参加下さい。

● 代表世話人　北村好司郎　☎075-313-8758
(当日)090-1140-4964

上京区市会補欠選挙 寺田氏、初陣を飾る

今回の衆議院選挙で、上京区選出の市会議員が、衆議院選挙に出馬することになった。上京区の市会議員の定数は5名。従って定数の⅕が欠員となるため、市会議員の補欠選挙が実施されることになった。上京区では既に2名の自民党市会議員が現職でいるが、上京支部(国枝克一郎支部長)では、あえて強気の作戦で、補欠選挙に自民党から候補者を擁立することにした。候補者は上京区生まれ、上京育ちの土地家屋調査士の寺田一博氏。2日に告示されたが、衆議院選挙とうまく連動して、悠々と当選を果たした。寺田氏は二ノ湯参議院議員とは、大変親しい関係にあり、早速市会議員としての抱負を「えとす」に寄せてくれた。

寺田一博氏

この度、京都市市会議員補欠選挙(上京区選挙区)におきまして当選させていただきました寺田一博でございます。突然の選挙でございましたが、皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。二之湯先生におかれましては、ご多忙の中、選挙期間中に何度も励ましていただき感謝の極みでございます。私は「土地家屋調査士」という仕事をしておりまして、土地家屋調査士会が以前から二之湯先生に大変お世話になっておりましたことから、私自身も先生のお話を聞き大変勉強させていただきました。

これからは市会議員として「子供の声がきこえる街づくり」を目指したいと思っております。戦後、先輩方が築きあげてこられたこの豊かな日本を、美しい京都の街を子供たちの世代に橋渡しできるようにがんばりたいと思います。今後とも暖かいご支援と厳しいご指導を賜りますようよろしくお願い致します。

身辺雑記

一、総選挙が終わった。前議員が全て当選するとは限らない。特に郵政民営化に反対した人は、惨めな結果になった。

一、郵政民営化に反対票を入れた議員に対する仕打ちはまさに仁義なき戦いである。政界には、義理と人情も必要である。

一、大好物のスイカの季節が過ぎ、今は梨と無花果が食卓を賑わしている。季節毎の旬の果物を食べていれば、経済的でしかも美味しくいただける。もうすぐ柿が登場する。本当に日本は自然に恵まれている。

一、先日「歩こう会」の常連参加者の告別式に参列した。出棺の際に五木ひろしが唄う「長良川艶歌」が聞こえてきた。聞くところによると故人は五木ひろしが大好きで、よく五木ひろしの歌を唄っておられたそうだ。野辺の送りでどんな形式をとるのか。故人の意思の尊重も大事なことだと考えさせられた。

一、今度の選挙では、4人の秘書が小選挙区の候補者の事務所へ出向した。私の事務所は男性秘書がいなくなってしまったが、幸いにボランティアの方々の手助けで、選挙期間中、あちこちへ移動できた。

一、突然の衆議院解散で、私も大事な日程をキャンセルすることになった。中でも、86才の母親を連れてハワイに行くことになっていた。元気なうちに母親の希望を叶えてあげなければならないと思っていた。幸いに代わりの人に行ってもらったが、せっかくの親孝行ができず残念なことであった。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

本会は、二之湯智の政治活動に対する支援と会員相互の親睦を図り、ふるさと京都と我が国の発展に寄与することを目的に設立された政治団体です。本会では、目的達成のため、各種広報活動をはじめ、研修会や講習会の開催等を計画して参ります。

本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

ご入会申込や詳しい説明をお聞きになりたい方は、下記までお問い合わせ下さい。

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228